

地域で  
がんばった  
編

2~3月

高浜小6年生が「まちづくりにチャレンジ!」

子どものころからまちづくりに関心を持ってもらおうと、地域の方が講師役となり、地域で行われている活動や、その活動に込められた想いなどを紹介する「出前授業」を実施。授業を受けた子どもたちは「自分たちも、住んでいるまちのために何かやってみよう!」と考え、グループごとにテーマを決めて実践。まちのいいところや課題などを子どもたちの目線でまとめ、市長へ報告しました。



▲まちのことをよく調べて、わかりやすくまとめているね。



▲「みなさんが知っている地域活動は?」との投げかけに「おまんこ」「千本桜ライトアップ」「防災訓練」など、たくさんの回答が返ってきました。



▶ 大山緑地の清掃活動をしていたら、まち協の青パトとばったり!「まちのために頑張ってくれてありがとう!」



◀ あなたが思う「高浜の自慢」は何? 瓦? とりめし? それとも…?



7~10月

「子ども防災リーダー養成講座」開講

「高浜の防災を考える市民の会」の呼びかけに応じた小学4~6年生28人が参加。「生きた防災教育」を合言葉に、過去の災害から教訓を学んだり、まち歩き・防災マップづくり、炊き出し・避難所運営訓練、ボランティア活動などの実践を積み重ねました。世代や地域を越えた絆が固く結ばれました。



▲まち歩きの結果をマップにまとめ、発表しました。



▲学習・体験の成果を地域にいかしていきましょう!

9月

中学生も「地域防災の戦力」に

港小学校区で実施された「総合防災訓練」では、情報通信網が使えないことを想定して、毎年、南中生が避難所の状況を災害対策本部へ走って報告する伝令役として活躍しています。平成25年からは、高取小学校区で実施された訓練でも、高中生・南中生が伝令役として活躍しました。



▲災害対策本部へ報告



▲高取小学校区の訓練のようす

平成26年も  
皆さんの活躍を  
期待しています

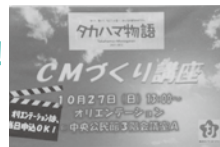


10月~

「タカハマ物語」  
ブランドCM大作戦!!がスタート!



▲プロからCMづくりのいろはを学ぶ



▲みんなでアイデアを出し合おう!

「もっと高浜を知ってほしい、好きになってほしい」との想いで制作された市民ムービー「タカハマ物語」に刺激を受け、「タカハマ物語」という名前をつけたさまざまな商品が誕生しています。高浜の新たな自慢を育てようと中高生たちが中心となってCMづくりが始まりました。その成果は、今年の3月に発表される予定です。